

# 平成20年度概算要求に当たっての基本的考え方

## 1. ぶれることなく、重要プログラムを着実に推進

- ・ **高速増殖炉サイクルの実用化研究開発**  
平成20年度の「もんじゅ」の運転再開、実証炉開発に向けた要素技術開発の加速。
- ・ **高レベル放射性廃棄物の地層処分に関する研究開発**  
地層処分技術の研究開発の着実な推進と国民の理解増進の推進。

## 2. 先進的な原子力科学技術への挑戦

- ・ **I T E R 計画の主導的推進**  
I T E R 計画の着実な推進、「幅広いアプローチ」による先進的研究開発の推進。
- ・ **J - P A R C のビーム供用開始**  
平成20年度後半からのビーム供用開始と施設の円滑な運用体制や利用体制の構築。

## 3. 原子力の裾野の維持・拡大

- ・ **基礎的・基盤的研究へのファンディングの充実**  
原子力試験研究費の改革・拡充。「原子力基礎基盤戦略研究イニシアティブ」の創設
- ・ **原子力・エネルギー教育への支援**  
立地地域だけでなく、全国での原子力・エネルギーに関する教育支援。
- ・ **原子力分野の専門人材養成**  
大学・高専における原子力分野の研究・教育基盤の充実。

## 4. 原子力の信頼回復と地域との共生

- ・ **耐震安全技術**  
安全研究の充実と耐震対策の実施。
- ・ **地域が主体となって進める持続的発展に向けた取組への支援**  
地域が主体となって進める地域の持続的発展を目指すためのビジョンに対する支援。

## 5. 積み残された問題を着実に前進

- ・ **R I ・ 研究所等廃棄物の円滑な処分に必要な環境整備**  
原子力機構を処分実施主体と明確化するとともに、円滑な事業ができるような環境整備。